

第23回政策推進会議報告

日時 3月10日(月) 9時30分～10時15分

場所 4-1会議室

出席者 19人

1 尼崎市都市計画マスタープラン改定に係る素案に対する市民意見公募手続の結果について

都市整備局長から資料に基づき報告。

2 「協働のまちづくりの基本方向～きょうD0ガイドライン～」の改訂について

市民協働局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長)研修等でこのガイドラインを活用していただくことになるが、若い職員に協働のセンスを身に付けてもらうにあたっては、幹部の方々のご理解が前提となるのでよろしくお願ひしたい。

・都市計画マスタープランにも協働のまちづくりがキーワードとして出ているが、このガイドラインとのつながりは整理されているのか。

整理できているとは言い切れない。計画によっては、協働というキーワードの捉え方やニュアンスがガイドラインと違っている場合もある。

・整理が必要ではないか。

都市計画マスタープランについては、市民協働局と表現について打ち合わせをした上で作成しているのので、大きな乖離はない。

(市長)このガイドラインは、将来像や情報を共有したりネットワークを作ったりといった協働全体に係るものである。様々な分野の基本となるガイドラインであり、誰でも見ることができるが、若干職員向けに偏っているように思う。

確かに今までは職員向けの感が強かったように思うが、市民からの行政に求める視点も強く、これからは職員向け・市民向け双方を意識していきたい。今後、尼崎市における自治のルールづくりや自治基本条例に向けた取組などについて議論していただく予定であり、双方の意見をしっかり盛り込んでいきたい。

(市長)市民と行政が共により良い公共を実現していくに当たって、市民が行政に期待していることがこのガイドラインには多く詰まっている。シティプロモーション推進指針にもつながることだが、尼崎市がどんどん良くなっていくことを職員一人ひとりが市民と共に喜びと感じたりやりがいを感じたりするかどうかが大変重要である。その基本が職員全体に共有できれば、試行錯誤はあれど困難な状況も乗り切れるのではないかと。そういった精神を組織に根付かせることが大事だと思う。

3 その他

- ・ 資産統括局長から、第49回ポートレースクラシック（総理大臣杯）について説明。
- ・ 経済環境局長から、「未来のより良いECOな街づくりのアイデア」募集について説明。
（市長）シティプロモーションなどもそうだが、職員からアイデアを募集するとおもしろいものが出てくるという実感があり、今回も所属に関係なく尼崎のエコなまちづくりについて職員もアイデアを応募してもらおうよう呼びかけてほしい。環境モデル都市やエコ未来都市・尼崎については、産業界との連携はうまく進んでいるものの、一般市民に良く知らない人が多い。まちをあげて取り組むシンボリックなものが必要だと思うので、職員にも関係団体にも周知していただきたい。
- ・ 企画財政局長から、こどものためのあまらぶワークショップについて説明。
（市長）お子様の参加はもちろんのこと、市がこんな取組を行っているという保護者へのPRにもなるので、各ご家庭に情報が届くよう教育委員会にもご協力いただきたい。
- ・ 顧問から、うふふなゼミ（船木顧問による若手職員育成ゼミ）発表会について説明。

以 上